YOKOTE JC ニュース

恩己地信（おんこちしん） ～紡（つむ）ごう！まちとともに 人とともに～

2020 新年号

理事長
津村　侑弥

2020年度を迎えて

新年おめでとうございます。

日頃より当会の活動に対し、皆様からの格別のご理解とご協力を賜り心から御礼申し上げます。

2011年に入会し10年という歳月の中で、会員だからこそ得られた出会いや経験によって多くの視点を養い、生き方や仕事への取組み方まで変化するきっかけとなったと感じています。そうした経験を積み重ね学んでいる最中の身ではありますが、40代理事長の大役を拝命することとなりました。

さて、今年度は「恩己地信（おんこちしん）～紡（つむ）ごう！まちとともに 人とともに～」をスローガンに掲げ、26名のスタートで運動を展開してまいります。恩己地信とは、青年会議所活動は皆様からの支えがあってできるという恩を原動力に、地域の可能性を会員自身が諦めることなく、心から信じて活動しようという気持ちを込め作った言葉になります。「明るい豊かな社会の実現」を理念とするこの素晴らしい組織を次代に紡いでいけるよう、会員と団結し職務を全うしてまいります。

結びに、皆様には今までと変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますことを心よりご祈念申し上げます。

一年間よろしくお願いいたします。

副理事長・専務理事を担当するにあたり

副理事長
鈴木　　武

新年おめでとうございます。

2020年度、副理事長を仰せつかりました鈴木武と申します。私が担当します横手の希望（ゆめ）創造委員会では、地域に寄り添い共に創るまちづくり事業の展開と希望を描く青少年育成の職務のもとに、今年で設立3年目となる横手のまちのために活動する団体と協働して立ち上げた「よこラボプロジェクト実行委員会」を継続し、地域に寄り添い共に創るまちづくり事業と、中高生を対象とした希望を描く青少年の育成事業を展開してまいります。従来であれば、まちづくり委員会と青少年育成委員会として活動をしてきましたが、ふたつの職務をひとつの委員会で行うというのも2020年度の特色の一つと考えております。

私は2011年に横手青年会議所に入会して以来、様々な担いや出向の機会をいただきながら本年で会歴10年目になり、会の中でも一番の古株となりました。その経験を活かし、まちとともに人とともに横手の未来を紡いでまいります。

副理事長
子野日 円美

新年おめでとうございます。

今年度、会員拡大研修委員会の担当副理事長を仰せつかりました子野日円美と申します。

今年は昨年に引き続き、会員数が30名を大きく下回り、過去最少人数のスタートとなりました。人口減少という厳しい社会的状況の中ではありますが、先輩諸賢の皆様が守り抜いてきたこの素晴らしい青年会議所という組織を、私達も未来へ紡いでいかなければなりません。

その想いの下、今年の会員拡大研修委員会では、「未来へ紡ぐ！～青年会議所の可能性を信じて進んでいこう～」をテーマに、会員1人ひとりの可能性を信じ研鑽に努めることで、会員が成長し、その成長こそが会員拡大の原動力となることを信じ、拡大を実現してまいります。また、委員長の細川 拓也君を筆頭に、昨年以上に様々な企業様にお伺いし、実績を求めた地道な活動を行ってまいります。

一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

専務理事
蓬田　太一

新年おめでとうございます。

2020年度、津村理事長の新体制のもと、専務理事の職務を仰せつかりました蓬田太一と申します。よく理事長と専務理事は夫婦のようなものだと言われます。今年度は、昭和58年生まれ2人のおしどり夫婦として、元気よく楽しく組織運営を全うしたいと存じております。また、執行部である専務理事といたしまして、優しさだけではなく、時には厳しい面もみせながら、品格のある横手青年会議所をさらに魅力ある団体へと昇華させてまいります。

さて、私が担当いたします総務・事務局では、例年の業務内容に加え、新しく会員交流事業の担当例会を担うこととなりました。内容はこれからの理事会で精査されますが、先輩諸氏にはご協力をお願いすることもあるかと存じますので何卒よろしくお願い申し上げます。

最後に、在籍年数の短い会員が増えていく中で、私のJAYCEEとしての活動経験をしっかりと後輩に伝え、先輩から受け継いだ想いを、これからも紡いでいきたいと存じます。そして、横手青年会議所メンバーとともに、今後、新しく仲間になるメンバーのために、未来の地域の人々のために、明るい豊かな社会の実現を目指して邁進いたします。

年頭にあたって

横手市長
髙　橋　　大

あけましておめでとうございます。2020年の初春を迎え、皆様におかれましては健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。また、日ごろから青年会議所の皆様におかれましては、柔軟な感性と若さあふれる行動力で、各団体との協働事業やSNSを駆使した情報発信など、さまざまな活動を通して地域に貢献いただいていることに対し、厚く御礼申し上げます。

さて、元号は平成から令和になり新たな時代が幕を開けた一年でありましたが、多くの皆様からさまざまなご意見や激励を頂戴し、加速度的に進む人口減少・若者の都市部への流出に歯止めをかけるべく企業誘致をはじめ産業の育成や企業支援を図るなど、雇用の創出に全力で取り組んでまいりました。将来にわたって横手に住み続けたいと思っていただけるよう、５年、10年先を見据えたビジョンを明確に描き、雇用はもちろんのことにぎわいの創出、インフラの整備に粉骨砕身の努力をしてまいります。会員の皆様には、今後なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、新年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心から祈念いたしまして、年頭のごあいさつといたします。

年頭のご挨拶

横手商工会議所　会頭
渡　部　尚　男

2020年の新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年は、日本での初開催となったラグビー・ワールドカップで日本代表が初の8強入りを果たし、ゴルフでは全英女子オープンゴルフ選手権で渋野日向子選手が42年ぶりとなるメジャー大会制覇を成し遂げるなど、スポーツで日本中が熱気に包まれた年でありました。一方、相次いで襲来した大型台風により、千葉県の大規模停電や東日本の河川氾濫や大規模冠水、浸水など甚大な被害を受けた年でもありました。

昨年5月には皇位継承に伴い、徳仁天皇陛下がご即位され、令和元年が幕を開け、新元号とともに開けた新時代は社会全体の規範や価値観を大きく変革しようとしています。

横手商工会議所は、この地域の更なる活性化を目指し、数多くの事業を行うことができました。これも偏に貴青年会議所をはじめ関係機関・団体の皆様のご支援、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、2019年度の横手青年会議所の事業は、「横手の美味しいに触れて学んでBBQ」や「中学生と社会人を交えたNIE教育」、よこラボプロジェクト実行委員会を組織し開催した「つむ♪らんど 金沢あそびがっこう」など地域資源の再発見や今後の地域を担う子どもたちに大きな影響を与える活動は、横手市の魅力再発見につながるもので、同じ地域活性化という目標を持つ当所としても大変心強く感じました。

「恩己地信～紡ごう!まちとともに 人とともに～」という貴青年会議所の2020年度スローガンの通り、地域の可能性を信じ、地域に寄り添いながら日々移り変わる時代に対応しようとする姿勢は、誠に頼もしい限りであります。

結びに、新しい年が皆様にとりまして実り多き一年となりますよう、また横手青年会議所のますますのご発展とご活躍をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

横手の希望（ゆめ）創造委員会

委員長　奥　山　豊　和

明けましておめでとうございます。

今年度、「まちづくり委員会」と「青少年育成委員会」の統合による、新しい「横手の希望創造委員会」の委員長を仰せつかりました。「協働というラボからまちを動かそう！」をテーマに掲げ、市民団体と共に立ち上げた「よこラボプロジェクト実行委員会」の発足から３年目を迎えます。地域課題を共有しコミュニケーションを図る場所としてこれからも継続しながら、参加団体の強みを活かし地域課題の解決に資するネットワークの形成を図ります。また、年間の事業を通じ主体性を持って地域社会と協働しながら、具体的ビジョンを提案し実行できる青少年の育成を目指してまいります。

2020年、自国開催のオリンピック・パラリンピックを契機に、改めて故郷の可能性を見つめ直し、共に横手の希望を創造する飛躍の年にできればと考えております。皆様のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

40周年特別準備室

室　長　子野日　円　美

新年おめでとうございます。

今年度、40周年特別準備室の室長を仰せつかりました子野日円美と申します。

さて、当青年会議所は、来年2021年に40周年を迎えます。これもひとえに関係各諸団体並びに先輩諸賢の多大なるお力添えとご尽力の賜物と感謝に堪えません。今年は、「横手青年会議所の物語を紡ぐ～40周年の更なる先へ～」をテーマとし、会員全員で40周年へと紡ぐための礎を共有してまいります。

また、当青年会議所は5年毎にまちづくりに関する政策提言の発表を続けており、今年は2016年より掲げている運動指針『Slow Life in YOKOTE』を検証する重要な年度にもなります。40周年のさらなる先を見据え、明るい豊かな社会の実現のために、新たな運動指針を策定してまいります。

会員拡大研修委員会

委員長　細　川　拓　也

新年おめでとうございます。

今年度、会員拡大研修委員会委員長を仰せつかりました細川拓也と申します。旧年中は当会の運動に格別のお引き立てをいただき、誠にありがとうございました。

さて、創立40周年を目前に控える当会の現状は、地域の人口減少の荒波に比例するかのように、毎年会員数が減少しているという厳しい状況が続いております。その中で、地域の問題に取り組み、まちを盛り上げ、青少年の健全な育成に勤しんできた当会の運動は、設立当初から諸先輩方の力により脈々と紡がれてまいりました。

当委員会は、そのような運動を展開する青年会議所をこれからの世代へ紡いでいき、青年会議所会員たる役割を各々が全うできるよう人員の増強に努めます。また、会員一人ひとりが成長する環境づくりをしていくことも当委員会の大きなタスクのひとつとなっておりますので、委員長を拝命した責任を自覚し、皆様のお力をお借りしながら進んでまいります。

一年間ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

総務・事務局

局　長　柿　崎　佳　和

新年おめでとうございます。

2020年度総務・事務局局長を務めさせていただくことになりました柿崎佳和と申します。

さて、昨年は平成から令和へと元号が変わり新たな時代を迎え、日本中が祝賀ムードに包まれました。その余韻を残す中、本年は1964年以来2度目の東京オリンピック・パラリンピックが開催されるなど、さらなる人と人とのつながりや様々な可能性を信じる機運の高まる年となることが予感されます。

横手青年会議所では津村理事長の掲げる「恩己地信～紡ごう！まちとともに人とともに～」のスローガンの下、会員一人ひとりが、地域やそこに住む人々の可能性を心から信じ、運動を邁進してまいります。総務・事務局ではその想いを実現させるため、各委員会を力強くサポートしてまいります。

最後に、至らぬ点も多々あろうかと思いますが、与えられた職務を全うできるよう努めてまいります。本年度も何卒よろしくお願い申し上げます。

秋田ブロック協議会 出向 役員挨拶

秋田ブロック協議会
副会長
和泉　康允

新年おめでとうございます。
今年度はブロック副会長として出向させて頂きます
持続可能な秋田創造委員会と総務・LOM支援委員会の担当となります。
学び多き1年にしていきたいと思います。

秋田ブロック協議会
次代を担う青少年育成委員会　委員長
熊谷　剛

新年おめでとうございます。謹んで新春をお祝い申し上げます。
2020年度、秋田ブロック協議会に出向します、熊谷剛と申します。事業としては例年と変わりないわんぱく相撲大会やJCカップ（サッカー）ですが、少しでもまちづくり・ひとづくりのために精進し、秋田を、横手を盛り上げていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

秋田ブロック協議会
事務局 事務局次長
水谷　舞

新年おめでとうございます。
2020年度秋田ブロック事務局次長として出向させて頂いております水谷舞です。
初めての経験ばかりで分からないこともありますが、私なりに新しい年ということで、色々なことにチャレンジする1年にしていきたいと思います。

新入会員紹介

①生年月日　②職種

荒川（あらかわ）　洋介（ようすけ）
①H3.3.15
②管工事業

柴田（しばた）　晋吾（しんご）
①S61.2.14
②仏壇墓石販売

菅原（すがわら）　京子（きょうこ）
①S62.9.29
②畜産業

松井（まつい）　崇（たかし）
①S58.8.26
②福祉事業

最上田（もがみだ）　晶（あきら）
①S55.11.3
②建設業

一般社団法人横手青年会議所の事業はホームページにも随時掲載しております。

ホームページアドレス　http://www. yokotejc.jp/

■発行日／2020年1月27日
■発行／一般社団法人横手青年会議所　〒013-0021 秋田県横手市大町7-18　横手商工会議所内　事務局　TEL.0182-32-1170
■企画／総務・事務局（柿崎　佳和・荒川　洋介・有馬　陽子・髙橋　征宏）　■担当専務理事／蓬田 太一
■編集・印刷／(株)アイ・クリエイト